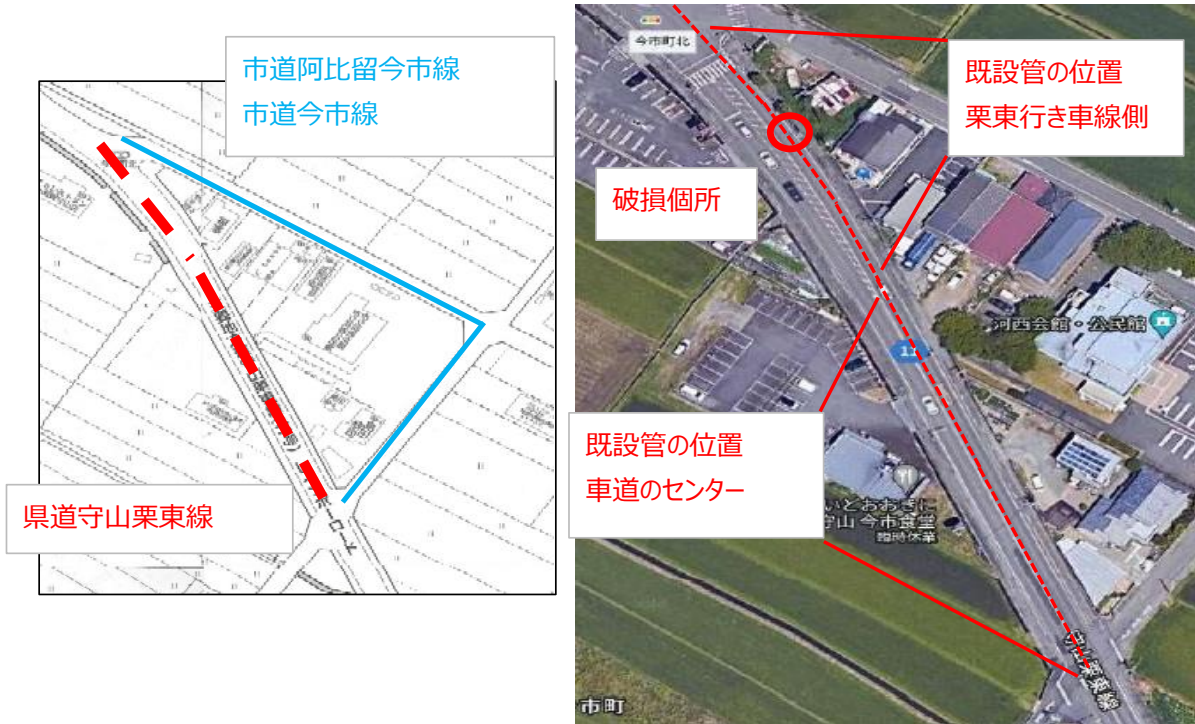


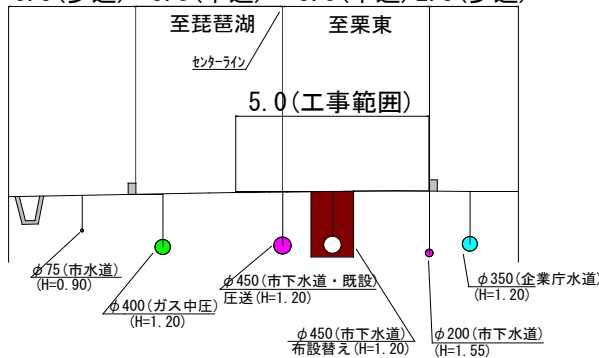
## (2)再発防止策 A予防保全 緊急性の高い取り組み

②復旧工事区間の布設替えのための設計と改築更新における設計条件の整理



対象路線	県道守山栗東線	市道阿比留今市線および市道今市線
埋設物	多いため布設替え困難 大阪ガス、市上水道、市下水道、企業庁有り	少ないため布設替え容易 NTT、市上水道、市下水道有り
施工性	布設替え工事後の舗装本復旧範囲が両車道となり、施工範囲が広がるため劣る	布設替え工事後の舗装本復旧範囲が、幅員が広くないため施工範囲が県道に比べ少なくなり優れる
維持管理	埋設物が多く、交通量多い車道であるため、維持管理が困難	埋設物が少なく、交通量も少ないため、維持管理が容易
交通規制	交通量から夜間工事となり、夜間通行止め等の規制が非常に難しい	交通量から昼間工事が可能となり、近隣住民に事前通知することで通行止めでの工事が可能
概算工事比率	1.0(夜間150m)	1.2(昼間220m) 県道での布設替えより、1.2倍程度増となる
評価	×	○

埋設断面図および工事範囲(県道守山栗東線)  
3.3(歩道) 3.8(車道) 3.8(車道) 2.3(歩道)



上記の工事範囲から車道通行止めとなり、県道守山栗東線への布設替えは非常に難しい。

また、不測の事態等で規制解除が遅れた場合の交通への影響も非常に大きいことから、市道への布設替えを行うことが適当であると考えます。

なお、管路にはエポキシ樹脂系ライニング材を使用し、硫化水素に対応した布設替えを行います。